

3. 調査地域の区分

調査地域を理解しやすいように、地形、土地利用、緑のまとまりを目安に、大きく8つの地区に区分し、大地区としました。さらに、各地区をより詳細にみるために29の小地区に細区分しました。この大地区、小地区を単位として評価を行いました。

① 調査地域の緑の分布



② 調査地区（大地区）

地理的条件を基に8つの地区に区分しました。



③ 調査地区（小地区）



◇調査地区区分の条件

大地区	おもな地域	含まれる小地区	概況
I. 座禅川上流	土屋南西部（愛宕山周辺、琵琶）	1,2,3,4,5,6,7	樹林が核となり、谷戸 ^{*3} や草地も混在する地区
II. 鷹取山山麓	上吉沢南部、下吉沢西部	8,9,10,11,12	西部丘陵地域ではもっともまとまりのある樹林で、溪流が流れる地区
III. 神奈川大学周辺	土屋旧字早田付近	13,14,15,16,17,18,19	住宅、樹林、農耕地が混在し、IとIIの環境をつなぐ地区
IV. 金目川段丘	土屋字遠藤原東部	20,21	段丘面は畑地が多く、段丘崖に細長く樹林が残る地区
V. 金目川低地	土屋旧字小熊付近	22,23	金目川沿いの広い水田が特徴的な地区
VI. 不動川中流	上吉沢吉浜、神戸付近および下吉沢東部	24,25,26	低地を不動川が流れる。住宅地が比較的多い地区
VII. 遠藤原台地	土屋字遠藤原西部	27,28	台地上の畑地
VIII. ゴルフ場	レイクウッドゴルフクラブ	29	ゴルフ場

*3 谷戸：丘陵地の谷間の低地。多くが水田として利用されてきた。水辺と樹林がセットであるので多くの生物が生息する。